

平成26年度教育研究活動報告書

氏名	荒井 貴史	所属	経済情報学部経済情報学科
学位	修士(経済学)	職位	教授
専門分野	理論経済学、公共経済学		
Ⅰ 教育活動			
本年度担当科目			
学部	経済学入門Ⅰ(ミクロ)、公共経済学、基礎演習Ⅰ、基礎演習Ⅱ、専門演習Ⅰ、専門演習Ⅱ		
大学院	公共経済学特論、地方財政特論、地域経済論特論(分担)、研究演習、研究指導(論文指導)		
Ⅱ 研究活動			
これまでの主な研究業績(5件まで)			
(1) 「医療サービス供給における「非営利」と「営利」について」『尾道大学経済情報論集』第3巻 第2号, pp65~77, 2003年			
(2) 「「三位一体の改革」と財政調整制度」『尾道大学経済情報論集』第4巻 第1号, pp127~149, 2004年			
(3) 「土地利用規制の経済学的考察」『尾道大学経済情報論集』第7巻 第1号, pp133~155, 2007年			
(4) 「地方財政健全化法と自治体の財政運営」『尾道大学経済情報論集』第9巻第2号pp.235~251, 2009年			
(5) 「農地の転用規制について」『尾道大学経済情報論集』第10巻 第1号, pp203~226, 2010年			
本年度を含む過去3年間の研究業績			
(1) 「庄原市の将来推計人口2012」『尾道市立大学経済情報論集』第12巻 第1号, pp1~13, 2012年			
(2) 「東広島市の将来推計人口2012」『尾道市立大学経済情報論集』第12巻 第2号, pp1~14, 2012年			
(3) 「国民健康保険制度の現状と改革について」『尾道市立大学経済情報論集』第13巻 第1号, pp1~42, 2013年			
(4) 「地球温暖化と国際交渉」『尾道市立大学経済情報論集』第13巻 第2号, pp1~32, 2013年			
(5) 「農地の規制・税制と農地集約化」『尾道市立大学経済情報論集』第14巻 第1号, pp1~15, 2014年			
(6) 「償却資産に係る固定資産税について」『尾道市立大学経済情報論集』第14巻 第2号, pp1~23, 2014年			
現在の研究テーマ(3つまで)			
(1) 政府の規制と課税の経済効果に関する研究			
(2) 地球温暖化問題と国際協調に関する研究			
(3) 医療保険制度と医療サービスの効率的な供給に関する研究			
研究テーマの進捗状況	(1)の研究テーマに関して、今年度に論文「農地の規制・税制と農地集約化」と論文「償却資産に係る固定資産税について」をまとめた。(2)の研究テーマに関しては、国際協調のメカニズムに焦点を当てて研究を継続している。ゲーム理論(協力ゲーム、非協力ゲーム)を用いて、理論分析を行うのが最終的目標であるが、現在は、協調や協力のメカニズムの理解を深めるために基本的な文献をサーベイしている。(3)の研究テーマに関しては、医療サービス市場に、両面的市場のメカニズムを導入する制度設計ができないかとの着想を得て、今後は両面的市場や多面的市場についてサーベイを行う。		